

平成30年度 埼玉県 公立高等学校 入学者選抜案内

平成30年度入学者選抜の日程

入学願書の提出期間

2月19日(月),2月20日(火)

全学科1回の募集です。

志願先変更期間

2月22日(木),2月23日(金)

期間内に1回志願先を変更することができます。

学力検査

3月1日(木)

国語・数学・社会・理科・英語の順で
5教科を実施し、各教科100点満点です。

実技検査,面接

3月2日(金)

一部の学校で実施します。

入学許可候補者発表

3月9日(金)

受検した高等学校において、
午前9時に行います。

欠員補充 3月16日(金)から4月まで

欠員補充の日程および内容については、実施する高等学校において定めます。



埼玉県のマスコット
「コバトン」

高等学校の情報を集めよう

● 全ての高等学校に県内のどこからでも志願できます。

所在地	学校名	所在地	学校名	所在地	学校名	所在地	学校名	所在地	学校名		
上尾市	上尾鷹の台	川越市	川越総合	さいたま市	岩槻商業	白岡市	白岡	東松山市	松山女子		
	上尾南		川越西		岩槻北陵	杉戸町	杉戸農業		日高市	日高	
	上尾南		川越初雁		浦和	草加市	草加西			深谷市	深谷
	朝霞市		朝霞西		市立川越	浦和工業	草加東		草加南		深谷商業第一
伊奈町	伊奈学園総合	北本市	北本		浦和商业	草加第一	富士見市	富士見			
入間市	入間向陽	行田市	進修館		浦和第一女子	草加南	ふじみ野市	ふじみ野			
小鹿野町	小鹿野	久喜市	久喜工業		浦和西	秩父市	秩父	本庄市	児玉		
小川町	小川		久喜北陽		浦和東		鶴ヶ島市		鶴ヶ島清風	本庄市	児玉白楊
桶川市	桶川		栗橋北彩		大宮		所沢市		芸術総合		松伏町
越生町	越生		鷲宮		大宮工業				所沢北	所沢商業	
春日部市	春日部工業	熊谷市	熊谷工業		大宮中央		所沢中央	所沢西	皆野町	皆野	
	春日部女子		熊谷商業		熊谷女子		大宮南	戸田市	戸田翔陽	宮代町	宮代
	春日部東		熊谷西		熊谷農業		大宮武蔵野	滑川町	滑川総合	八潮市	八潮南
	庄和		妻沼		鴻巣市		鴻巣女子	新座市	新座総合技術	吉川市	吉川美南
加須市	不動岡	鴻巣市	吹上秋桜	市立浦和南	新座柳瀬		寄居町	和光			
川口市	川口北		越ヶ谷北	越ヶ谷総合技術	市立大宮北		蓮田市	蓮田松韻	和光国際		
	川口工業		越ヶ谷西	越ヶ谷東南	坂戸市		鳩山町	誠和福祉	蕨市	蕨	
	川口青陵		越ヶ谷南	さいたま市	幸手市		狭山経済	羽生市			羽生実業第一
	川口東	越ヶ谷	いずみ	狭山清陵	狭山緑		飯能市	飯能南			
川越市	川越工業	志木市	志木	飯能市	飯能南						

所在地の市町名は平成29年4月1日現在のものです。

● こんな学科があります

普通・農業・工業・商業・家庭・看護・外国語・美術・音楽・書道・体育・理数・福祉・人文・国際文化・映像芸術・舞台芸術・総合 など

- 各高等学校の特色を調べ、学校説明会などに足を運んで実際に見学してみましょう。
- 志望校を決めるのはみなさん自身ですが、先生や保護者など身近な人とよく相談して、情報を得ることが大切です。
- 学校説明会の情報は埼玉県立総合教育センター 入試情報 (http://www.center.spec.ed.jp/?page_id=173) で見ることができます。

● 学力検査について

- 学力検査は、**国語・数学・社会・理科・英語の順で5教科**を実施し、各教科100点満点です。
- 原則としてすべての志願者が受検します。5教科すべて50分です。
- 問題は中学校学習指導要領に基づいて出題されます。なお、英語には、リスニングテストも含まれます。
- 以下の20校は、数学と英語の学力検査において、問題の一部に応用的な内容を含む「学校選択問題」を実施します。

浦和高等学校・浦和第一女子高等学校・浦和西高等学校・大宮高等学校・春日部高等学校・川口北高等学校
川越高等学校・川越女子高等学校・川越南高等学校・熊谷高等学校・熊谷女子高等学校・熊谷西高等学校
越ヶ谷高等学校・越ヶ谷北高等学校・所沢高等学校・所沢北高等学校・不動岡高等学校・和光国際高等学校
蕨高等学校・さいたま市立浦和高等学校

(すべて全日制課程)

各高等学校の選抜基準について

埼玉県公立高等学校入学者選抜では、選抜に第1次選抜、第2次選抜、第3次選抜(実施しない高等学校もあります)という段階を設け、選抜段階ごとに、各高等学校が学力検査や調査書などの得点の重みの付け方に差を設けることができます。

全日制 県立彩の国高等学校(普通科)

平成30年度入学者選抜

選抜の基本方針	各高等学校の選抜の方針を記載しています。										
選抜資料	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">参考</div>										
○学力検査の扱い	[500点]									
○調査書の扱い	<div style="background-color: yellow;">学習の記録の得点</div> (1 ^{1年} :2 ^{2年} :3 ^{3年})..... (270点) <div style="background-color: green;">特別活動等の記録の得点</div> (20点) [300点] <div style="background-color: green;">その他の項目の得点</div> (10点)										
○その他の資料 面接	[60点]									
一般募集	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">傾斜配点を行わない多くの高校では334点~750点の範囲で各高校が定めます。</div>										
● 第1次選抜(80%を入学許可候補者とする)	(各資料の配点) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>①学力検査</td> <td>②調査書</td> <td>③面接</td> <td>④合計</td> </tr> <tr> <td>500点</td> <td>360点</td> <td>60点</td> <td>920点</td> </tr> </table> 1.2倍			①学力検査	②調査書	③面接	④合計	500点	360点	60点	920点
①学力検査	②調査書	③面接	④合計								
500点	360点	60点	920点								
● 第2次選抜(15%を入学許可候補者とする)	(各資料の配点) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>⑤学力検査</td> <td>⑥調査書</td> <td>⑦面接</td> <td>⑧合計</td> </tr> <tr> <td>500点</td> <td>450点</td> <td>60点</td> <td>1010点</td> </tr> </table> 1.5倍 <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">傾斜配点を行わない多くの高校では215点~1,166点の範囲で各高校が定めます。</div>			⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計	500点	450点	60点	1010点
⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計								
500点	450点	60点	1010点								
● 第3次選抜(5%を入学許可候補者とする)	第2次選抜における合計得点の一定の順位のを対象に、特別活動等の記録の得点、その他の項目の得点、面接の得点で選抜する。										
調査書の扱いの詳細	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">調査書の特別活動等の記録、その他の項目について具体的な評価項目を記載しています。</div>										
【特別活動等の記録の得点(20点)】	○										
【その他の項目の得点(10点)】	○										
○	○										
第2志望	複数の学科やコースがある場合は、 なし 「第2志望」「第2志望に準ずる志望」に関する記載をしています。										
その他	通学時間・通学距離の扱い、外国人特別選抜などに関する記載 なし をしています。										

選抜資料

学習の記録の得点

中学校での各学年9教科5段階評定を各高校が定める比率で乗じたものの合計です。

参考の県立彩の国高等学校では1^{1年}:2^{2年}:3^{3年}の比になっており45(点)×(1+2+3)=270点が最高得点になります。

特別活動等の記録の得点、その他の項目の得点

各高校で得点を定めます。具体的な評価項目については「調査書の扱いの詳細」に記載されます。

一般募集

第1次選抜

- ・ 募集人員の60~80%が入学許可候補者となります(割合は各高校が定めます)。
- ・ ②調査書の配点は【②調査書:①学力検査】の値が4:6~6:4の範囲になるように各高校で定めます。
- ・ ④合計の高い受検生から順に高校が定めた人数が入学許可候補者となります。

第2次選抜

- ・ 入学許可候補者予定数を満たすために必要な人数の60~100%を入学許可候補者となります(割合は各高校が定めます)。
- ・ ⑥調査書の配点は【⑥調査書:⑤学力検査】の値が3:7~7:3の範囲になるように各高校で定めます。
- ・ ⑧合計の高い受検生から順に高校が定めた人数が入学許可候補者となります。

第3次選抜(実施しない高校もあります)

- ・ 第2次選抜で入学許可候補者にならなかった受検生を対象に、記載された資料の得点を用いて選抜を行います。

選抜の手順と方法

一般募集は第1次選抜、第2次選抜、第3次選抜の順に選抜資料の配点を変えて選抜を行います。(第3次選抜を実施しない高校があります)

参考の「県立彩の国高等学校」では

第1次選抜: 学力検査の得点+(調査書の扱いの得点×1.2倍)+面接の得点=合計得点として得点の高い受検生から順に募集人員の80%を合格とします。

第2次選抜: 第1次選抜では合格できなかった受検生を対象に

学力検査の得点+(調査書の扱いの得点×1.5倍)+面接の得点=合計得点として得点の高い受検生から順に定員の15%を合格とします。

第3次選抜: 第1次選抜、第2次選抜では合格できなかった受検生を対象に

第2次選抜の合計得点の一定の順位を受検生に対して、特別活動等の記録の得点、その他の項目の得点、面接の得点の高い受検生を合格とします。

平成30年度入学者選抜の各高等学校の選抜基準は埼玉県内の各公立中学校に冊子として配布しております。

また、埼玉県教育委員会のHP[<http://www.pref.saitama.lg.jp/f2208/30nyuushi-jouhou.html>]にも掲載をしています。

平成30年度 県公立高校入試

Q&A

Q 出願の際に必要な書類を教えてください。

A 入学願書、受検票、及び、中学校長が作成した調査書が必要で、県外中学校から出願する方、特別選抜などを希望する方は、これ以外にも書類を提出する必要があります。入学願書等の入手方法は、県内の公立中学校を卒業見込みの方は中学校の先生に相談してください。

Q 入学願書は郵送で提出できますか？

A 県立高校は、郵送で出願することができます。郵送で出願する場合は平成30年2月16日(金)を配達指定日とし、入学願書、受検票、調査書を、郵送してください。なお、市立高校は郵送による出願ができません。

Q 市立高校に出願したいと考えています。県立高校の出願と違いはありますか？

A 出願に必要な書類は県立高校と同じです。市立高校は郵送による出願はできません。その理由は県立高校は選考手数料として埼玉県収入証紙を願書の所定の箇所に貼るのに対し、市立高校は選考手数料を現金で納めるためです。詳細は各学校の募集要項で確認してください。

Q 定時制の高校に入学したいと考えています。その入試について教えてください。

A 定時制の入学者選抜は、全日制と同じ日程で行います。学力検査の問題も同じです。

Q 志願先変更について教えてください。

A 志願先変更は1回できます。「志願先変更願」及び受検票を先に申し出た高校に提出し、「志願先変更証明書」の交付を受けた後、変更先の高校で新たに出願手続をとってください。志願先変更期間、2月22日(木)～23日(金)午後4時までに手続を完了してください。志願先変更の手続は、郵送ではできません。

Q 学力検査について
学力検査当日に必要な持ち物を教えてください。

A ①受検票、②鉛筆、③消しゴム、④三角定規、⑤コンパス、⑥弁当、⑦上ばき、⑧志願先高等学校長が指示するものです。なお、学力検査時に使用を認めるものに「計時機能のみ時計」「シャープペンシル」「直定規」があります。

Q 学力検査時に携行してはいけないものを教えてください。

A 学力検査に必要なもの、学力検査の公平性を損なうおそれのあるものは検査時に携行できません。例：下敷き、分度器(もしくは類似機能を持つ文房具類)、文字、公式等が記入された定規等、和歌や格言等が印刷された鉛筆等、色鉛筆、蛍光ペン、ボールペン、計算機・計算機能や辞書機能等のある時計、携帯電話等の電子機器類など。

Q 学力検査では、どのような問題が出題されるのですか？

A 国語、数学、社会、理科、英語の5教科の学力検査を行います、検査時間はすべて50分です。問題は、中学校学習指導要領に基づいて出題します。基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、思考力、判断力、表現力等の能力をみる問題の出題にも配慮します。また、受検生の学力を十分に把握できるように、出題の内容、及び出題数に配慮するとともに、記述による解答を求めるようにします。

Q 数学と英語の学力検査は「学力検査問題」の他に「学校選択問題」があると聞きました、「学校選択問題」はどのような学校が実施するのですか？

A 「学力検査問題」では得点に差がつかず、受検生の学力をしっかりとみることが難しいと判断した高校が、例外的に埼玉県教育委員会が作成した、学校選択問題を実施することができます。本リーフレットの2ページ目に「学校選択問題」を実施する20校が記載されています。

Q 入学許可候補者の発表について
合格発表は、いつ、どのような形で行われますか？

A 平成30年3月9日(金)午前9時に、志願先高等学校に入学許可候補者の受検番号一覧を掲載します。入学許可候補者は、受検票を持参し、高校の指示に従って必要書類を受け取ってください。

Q 3月9日の発表のあとにも募集はありますか？

A 3月9日の発表時に募集人員に満たない場合は、欠員補充をおこないます。日程や内容は、実施校ごとに定めます。

★ 問い合わせ先 ★

埼玉県立総合教育センター 「入試相談窓口」

◆電話 : 048-556 - 2439 (相談窓口直通)

◆メールアドレス : p7412216@pref.saitama.lg.jp

◆相談時間 月曜～金曜 午前9時～午後5時
(国民の祝日・年末年始はお休みです。)